

ROBOTAWARD

「ロボット大賞」



THE ROBOT AWARD

優れたロボットを
表彰します

「ロボット大賞」は、我が国のロボット技術の革新と用途拡大及び需要の喚起を促すため、活躍したロボットの中から市場創出への貢献度や期待度が高いロボット、ロボットに関連するビジネス・社会実装、要素技術、研究開発及び人材育成を表彰する制度です。

※第10回ロボット大賞は、2022年4月から募集開始予定！ (エントリーは2021年12月から開始予定)

第10回ロボット大賞 募集要項 (予定)

※募集要項(仮版)を12月に公表予定です。正式な募集要項・募集部門分野は2022年4月に公表予定です。(内容は仮版から変更になる場合がございます)

表彰位 (第9回 ロボット大賞のもの)

大臣賞

(経済産業大臣賞/総務大臣賞/文部科学大臣賞/厚生労働大臣賞/農林水産大臣賞/国土交通大臣賞)

全応募のうちそれぞれの大臣が行う政策上の観点から、最も優秀であると認められるロボット等に対して各大臣賞を授与します。

中小・ベンチャー企業賞

(中小企業庁長官賞)

中小企業及びベンチャーからの応募のうち特に優秀であると認められるロボット等に対して中小企業庁長官賞を授与します。

日本機械工業連合会会長賞

ロボット産業の振興において特に優れたロボット等に対して日本機械工業連合会会長賞を授与します。

優秀賞

各部門及び各分野において特に優秀であると認められるロボット等に対して優秀賞を授与します。

審査員特別賞

上記の他に、表彰に値するロボット等に審査員特別賞を授与することがあります。

部門

ビジネス・社会実装部門

ロボット応用システム部門

ロボット部門

要素技術部門

高度ICT基盤技術部門

研究開発部門

人材育成部門

分野

も
の
づ
く
り
分
野

サ
ー
ビ
ス
分
野

I
C
T
利
活
用
分
野

介
護
・
医
療
・
健
康
分
野

社
会
イ
ン
フ
ラ
・
災
害
対
応
・
消
防
分
野

農
林
水
産
業
・
食
品
産
業
分
野

応募のポイント

ポイント1: 既に市場実績のあるロボットのみでなく、研究開発段階のものであっても近い将来社会で活躍できる期待のあるロボットは募集の対象となります。
ポイント2: ロボットメーカーのみでなく、ロボットユーザー、ロボットシステムインテグレータもビジネス・社会実装部門などで応募が可能です。

★今までの受賞企業から、受賞したことにより、契約数の増、広告効果(知名度・ブランド力向上)、研究の発展・加速などに効果があったとの評価が寄せられています★

●2021年の募集は行いません。「第10回ロボット大賞」は2022年4月初旬より募集開始予定です。2022年度の実施概要が決定しましたら「ロボット大賞」ウェブサイト(<https://www.robotaward.jp/>)、『各種お知らせメール』にてお知らせします。「ロボット大賞」に関する情報をいち早くお知らせするメールの配信や、各種関連資料の送付をご希望の方は、「ロボット大賞」ウェブサイトよりお申込みください。

応募方法

公式ウェブページから応募エントリー

エントリー期間(予定):2021年12月1日(水)~2022年6月3日(金)

応募用紙をダウンロードし必要事項を記入

応募用紙とロボットの動作が確認できる 動画データ等の資料を郵送

応募期間(予定):2022年4月11日(月)~6月3日(金)

応募完了

審査方法

一次審査

(書類審査)

二次審査

(現地調査及び応募者プレゼンテーションに基づく審査)

表彰式

(2022年10月19日予定)

各種お知らせメール登録
お申し込み受付中!

「ロボット大賞」

詳細は「ロボット大賞」ウェブサイトにてご覧ください。

検索

※2021年度の募集は行いません。2022年4月初旬より募集開始予定です。

「ロボット大賞」公式ウェブサイト <http://www.robotaward.jp/>

「ロボット大賞」運営事務局 [E-mail info@robotaward.jp](mailto:info@robotaward.jp)

共催 | 経済産業省(幹事)、一般社団法人 日本機械工業連合会(幹事)、
総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省



このリーフレットは、競輪の補助により作成しました。

第1回～第9回ロボット大賞では105件の優れたロボット、部品・ソフトウェアが表彰され、社会の幅広い分野で活躍しています。

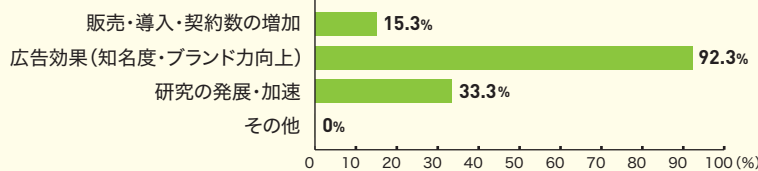
● 第9回 ロボット大賞 ●

<p>経済産業大臣賞</p>  <p>協働ロボットCRX ファナック株式会社</p>	<p>総務大臣賞</p>  <p>家族型ロボット「LOVOT」 GROOVE X株式会社</p>	<p>文部科学大臣賞</p>  <p>小惑星探査機はやぶさ2/ 小惑星探査ロボットMINERVA-II 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 はやぶさ2プロジェクトチーム MINERVA-IIプロジェクトチーム</p>	<p>厚生労働大臣賞</p>  <p>移乗サポートロボットHUG T1-02 株式会社FUJI</p>		
<p>農林水産大臣賞</p> <p>自動野菜収穫ロボットと RaaSモデルによる 次世代農業パートナーシップ inaho株式会社</p> 		<p>国土交通大臣賞</p> <p>トンネル覆工コンクリート 自動施工ロボットシステム 西日本高速道路株式会社/ 清水建設株式会社/ 岐阜工業株式会社</p>  <p>システム全図</p>			
	<p>中小・ベンチャー企業賞 (中小企業庁長官賞)</p> <p>協働運搬ロボット 「サウザー」シリーズ 株式会社Doog</p>		<p>日本機械工業連合会 会長賞</p> <p>製造業における 部品調達デジタル革命、 「meviy」 株式会社ミスミグループ本社</p>		<p>日本機械工業連合会 会長賞</p> <p>自律移動型警備ロボット SQ-2 SEQSENSE株式会社</p>
	<p>優秀賞 (ビジネス・社会実装部門)</p> <p>次世代薬局ロボ(薬剤自動管理)と 自動薬剤受取機、デジタル・セルフ OTC販売で「患者のための 薬局ビジョン」実現 日本ベクトン・ディキンソン株式会社</p>		<p>優秀賞 (介護・医療・健康分野)</p> <p>研究用マウス 飼育自動化システム 「RoboRack®」 グローバル・リンクス・テクノロジー株式会社</p>		<p>優秀賞 (農林水産業・食品産業分野)</p> <p>農機向け後付け式の 自動化システム 株式会社トブコン</p>
	<p>優秀賞 (社会インフラ・災害対応・消防分野)</p> <p>建設機械の自動運転を核とした 次世代建設生産システムA4CSEL® (クワッドアクセス) 鹿島建設株式会社</p>		<p>優秀賞 (研究開発部門)</p> <p>高速道路のトンネル覆工コンクリート における時速100km走行での 4K高解像度変状検出システム 東京大学・中日本高速道路株式会社</p>		<p>審査員特別賞</p> <p>母船し海海底調査を 可能とする洋上・海中 ロボットシステム Team KUROSHIO</p>

「第9回ロボット大賞」受賞者アンケート調査

「第9回ロボット大賞」受賞企業・団体へ受賞後のアンケート調査を行い、下記の回答をいただいております。(13社・団体より回答)

「ロボット大賞」を受賞したことで、どのような効果がありましたか(複数回答可)



ブランド力の向上を図ることができ、
拡販に寄与しています。

また、ロボット大賞で評価頂いたロボットについて、
更なる機能向上の開発も加速しています。

このロボットを開発した
研究室にきたいという
連絡が複数ありました。

受賞に伴い、複数の
メディア掲載がありました。

受賞者の声

顧客からの信頼感の
向上に繋がりました。

今後の課題や方針を
より明確にすることができました。

共催: 経済産業省(幹事)、一般社団法人日本機械工業連合会(幹事)、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省

協力: 独立行政法人中小企業基盤整備機構、国立研究開発法人科学技術振興機構、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、国立研究開発法人森林研究・整備機構、森林総合研究所、国立研究開発法人水産研究・教育機構、国立研究開発法人日本医療研究開発機構、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、公益社団法人計測自動制御学会、公益社団法人自動車技術会、公益社団法人精密工学会、公益社団法人日本食品科学工学会、公益社団法人日本船舶海洋工学会、公益社団法人日本べんとう振興協会、公益社団法人日本リハビリテーション医学会、公益社団法人テクノエイド協会、公益社団法人医療機器センター、一般社団法人i-RooBO Network Forum、一般社団法人映像情報メディア学会、一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム、一般社団法人人工知能学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人日本医療機器産業連合会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本建設機械施工協会、一般社団法人日本義肢装具学会、一般社団法人日本原子力学会、一般社団法人日本建設機械工業会、一般社団法人日本航空宇宙学会、一般社団法人日本コンピュータ外科学会、一般社団法人日本産業車両協会、一般社団法人日本食品機械工業会、一般社団法人日本人間工学会、一般社団法人日本農業機械化協会、一般社団法人日本農業機械工業会、一般社団法人日本包装機械工業会、一般社団法人日本UAS産業振興協議会、一般社団法人日本リハビリテーション工学会、一般社団法人日本ロボット学会、一般社団法人日本ロボット外科学会、一般社団法人日本ロボット工業会、FA・ロボットシステムインテグレーション協会、一般社団法人ライフサポート学会、一般社団法人林業機械化協会、一般社団法人日本生活支援工学会、一般社団法人日本計量器工業連合会、一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人日本電気制御機器工業会、一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団法人日本物流システム機器協会、一般社団法人橋梁調査会、一般社団法人先端建設技術センター、社会福祉法人全国社会福祉協議会、特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構、建設無人化施工協会、農業食料工学会、ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会、サービ学会、サービス産業生産性協議会、特定非営利活動法人横型基幹科学技術研究団体連合、消防庁消防大学校消防研究センター、日本介護用入浴器工業会(6団体、順不同)